

2

川本さんの学級では、ごみを減らす取り組みの一つとして、身近な紙の問題を調べ、新聞にまとめて書くことにしました。そこで、紙についての資料を集めました。次の資料を読んで、あとの問いに答えましょう。

※段落のはじめにある数字は、その段落の番号を示しています。

【資料1】

1 家庭や地域などから毎日のようにさまざまなごみが出されます。ごみの量をこれ以上増やさないようにするために、わたしたちに何ができるでしょうか。また、資源として大切に使うために、どのようなことができるでしょうか。身近な紙の問題を例にして考えてみましょう。

2 紙は、わたしたちのくらしの中でなくてはならないものであると同時に、産業や文化を支える大事な働きをしています。トイレットペーパーやティッシュペーパーなどは、生活用品として、また、新聞や雑誌、本などは、情報と知識を伝えるものとして、はば広く使われています。

3 一般に紙は、「紙」と「板紙（厚手の紙のこと）」に区分されます。新聞、雑誌、印刷用紙、コピー用紙、ノート、ティッシュペーパーなどは、「紙」に区分されます。段ボールや紙箱用のボール紙などは、「板紙」に区分されます。

4 日本の紙と板紙の生産量は、二〇〇二年（平成十四年）には、世界第

ア

位と

なっています。そのほとんどは国内で消費しています。

5 社会や経済の発展にともない、紙はより多くの分野で使われるようになり、新しく木から作り出す紙だけでは不足するようになってきました。そこで、一度使い終わった紙を古紙として、再生利用することが世界的に重要な課題となってきました。紙の原料である森林を守るためにも、古紙を利用して、むやみに木を切ることがないようにする必要があります。

6 古紙には、新聞紙、雑誌、段ボール、紙パックなど、いくつかの種類があります。中でも、新聞紙、雑誌、段ボールの三種類が、古紙の大部分をしめています。

7 古紙の再生の方法としては、同じ種類の紙に生まれ変わることが多くなっています。段ボールの古紙は段ボールに、新聞紙の古紙は新聞紙になります。そのため、同じ種類の古紙はひもでくくり、まとめて回収に出すことが大事です。また、水にぬれていると再生しにくくなったり、金属が付いていると手間がかかってしまったりします。回収に出すときに少し気をつけることで、古紙の再生に役立つことになるのです。

8 このように、わたしたちの身近なところから古紙の再生利用を進めていくことは重要です。古紙を使って紙を生産し、古紙からできた紙をさらに再生利用することで紙のゴミを減らし、資源を有効に活用することができます。わたしたちの身近なところからゴミを減らすことを考えて、取り組んでいくことが必要ではないでしょうか。

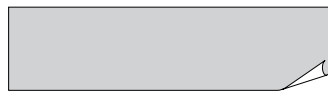
【資料2】

■紙・板紙の生産量の世界上位8か国

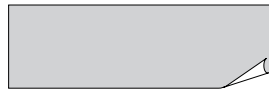
(地域別に整理したもの)

2002年(平成14年)

アジア



中国 3541万トン



日本 2900万トン



韓国 946万トン

北アメリカ



アメリカ合衆国 7534万トン



カナダ 1953万トン

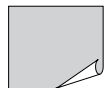
ヨーロッパ



ドイツ 1749万トン



フィンランド 1263万トン



スウェーデン 1043万トン

(1トンは1000kg)

(総務省統計局『世界の統計2006』による)

一 資料2をもとに、資料1の第4段落の

ア

 の中に入るふさわしい数字を書きましよう。

二 資料1の第5段落に、「^①一度使い終わった紙を古紙として、再生利用することが世界的に重要な課題となってきました」と書いてありますが、なぜ、重要な課題となってきたのですか。その理由を本文中から探して、二つ書きましよう。

(メモ) ※解答は、解答用紙に書きましよう。

--

--

- (1) 新聞記事の イ の中に、「古紙を回収に出すときに守ること」をさらにもう一つ書くことにしました。本文の内容に合わせて、一つ目と同じような書き方で書きましょう。

(メモ) ※解答は、解答用紙に書きましょう。

- (2) 資料1の第8段落に、「わたしたちの身近なところからごみを減らすことを考えて、取り組んでいくことが必要ではないでしょうか」と書いてあります。そこで、新聞記事の ウ の中に、自分でもできるごみを減らす取り組みを書くことにしました。あなたなら、どのような取り組みをしようと思いますか。次のことに注意して、**八十字以上百二十字以内**で書きましょう。

〈注意〉

- あなたが見たり、聞いたり、読んだり、体験したりしたことなどをもとにして、具体的に書くこと。

※メモは、次のページにあります。

